

(様式1)

平成21年度における「がん対策」に関する都道府県の取組

都道府県名 大 分 県

1 平成21年度において、都道府県として、「がん対策」をどのように推進していくのか。

対 策 名	課 題	具 体 的 な 対 応	21年度予算額 上段()に 20年度予算額
(1) 放射線療法及び化学療法の推進 並びにこれらを専門的に行う医師 等の育成	日本放射線腫瘍学会が認定する専門医は、県内に3名(H21年1月現在)、日本臨床腫瘍学会が認定するがん薬物療法専門医は、県内に3名(H20年4月現在)と数少ない状況にあり、人材の確保及び育成が課題である。	がん診療連携拠点病院において放射線療法及び化学療法の研修を行うことにより、専門的知識を有する医師及び医療従事者の育成を図り、放射線療法及び化学療法の推進を行う。	千円 ※
(2) 治療の初期段階からの緩和ケア の実施 ① 治療の初期段階からの緩和ケア 及び専門的な緩和ケアの推進 ② 在宅療養・緩和ケアの充実	治療時期や療養場所を問わず患者の状態に応じて、緩和ケアが適切に提供されるとともに、がん患者と同様にその家族も様々な苦痛を抱えていることから、がん患者のみならず、その家族に対して心のケアを行う医療従事者を育成することが課題である。 現在、県内には緩和ケア病床のある医療機関は、3施設47床と数少ない状況にある。	平成20年度は大分県主催で「緩和ケア研修会開催指針」に基づく緩和ケア研修会をモデル的に実施し、各拠点病院に開催のノウハウを取得してもらった。 平成21年度からは、各拠点病院が指針に基づく緩和ケア研修会を開催することとしている。	(1,000) ※

対 策 名	課 題	具 体 的 な 対 応	21年度予算額 上段()に 20年度予算額
(3) がん登録の推進	大分県は地域がん登録が未実施であり、実施が課題となっている。	地域がん登録の実施についての調査、がん対策推進協議会、がん検診の精度管理・事業評価の専門部会の設置運営を行う。	(386) 376
(4) がん予防・早期発見の推進 ① がんの予防	がんの予防対策のうち喫煙対策が、がん予防の要因としては最大のものとされており、一層の禁煙対策が求められている。	発がんリスクの低減を目指して、喫煙の及ぼす健康影響についての普及啓発を進め、禁煙支援プログラムのさらなる普及を図り、喫煙をやめたい人に対する禁煙支援を行うための体制を整備等を行う。	(1,015) 1,053
② がんの早期発見	有効性の確認されたがん検診を実施し、受診率を高くするとともに精度管理・事業評価等を行う必要がある。	平成20年度は、早期発見を促進するため胃がん検診車(56,250冊)や乳がんの普及啓発(246冊)を行うとともにがん検診の精度管理を行うため国の「がん検診実施体制強化モデル事業」(5,763冊)の採択を受け事業を実施した。	(62,259) 0

対 策 名	課 題	具 体 的 な 対 応	21年度予算額 上段()に 20年度予算額
(5) がん医療に関する相談支援及び 情報提供	<p>がんと診断されたとき、がん患者及びその家族には大きな動揺が生じることから、がんの正しい知識を提供したり、適切な治療方法を選択できるような相談支援体制の整備が必要とされている。</p>	<p>市町村、保健・医療等の関係者や関係団体とも協力して、がんに関する情報の提供体制を強化するとともに、「相談支援センター」を整備する。</p>	※
		<p>がん患者やその家族が、心の悩みや体験等を語り合うことにより、不安が解消された、安心感につながったという事例があることから、こうした活動を支援するための事業を新たに行うこととしている。</p>	(0) 600
(6) がん医療水準均てん化の促進	<p>がん患者がその居住する地域にかかわらず、科学的知見に基づく適切ながん医療や本人の意向を十分尊重した治療方法等が選択できることが求められている。</p>	<p>3年以内に、県内どこでも質の高いがん医療を受けることができるよう拠点病院を整備する。</p>	※
(7) がんに関する研究の推進	—	—	—
<p>「がん対策」予算合計（様式2の「がん対策」予算合計と一致すること）</p>			<p style="text-align: right;">千円</p> <p>(85, 660) 23, 029</p>

※ がん診療連携拠点病院機能強化事業として実施 平成21年度予算額：21,000（平成20年度予算額：21,000）

(様式2)

平成21年度における「がん対策」に関する具体的な事業一覧

都道府県名 大 分 県

(1) 放射線療法及び化学療法の推進並びにこれらを専門的に行う医師等の育成

事業名	事業内容	国庫補助の有無	20年度予算額	21年度予算額	実施主体
がん対策推進事業	(がん診療連携拠点病院機能強化事業) 拠点病院において放射線療法及び化学療法の研修を医師等に行う。	がん診療連携拠点病院機能強化事業 (厚労省健康局)	千円 ※	千円 ※	補助先 (がん診療連携拠点病院)

(2) 治療の初期段階からの緩和ケアの実施

事業名	事業内容	国庫補助の有無	20年度予算額	21年度予算額	実施主体
がん対策推進事業	(がん診療連携拠点病院機能強化事業) 拠点病院において、がん医療従事者研修事業として緩和ケア研修を実施する。	がん診療連携拠点病院機能強化事業 (厚労省健康局)	千円 ※	千円 ※	補助先 (がん診療連携拠点病院)
	(緩和ケア研修会開催事業) 県の主催により緩和ケア研修会開催指針に基づくがん医療に従事する医師を対象とした緩和ケア研修を実施する。	がん対策推進特別事業(一般事業) (厚労省健康局)	1,000	0	県

(3) がん登録の推進

事業名	事業内容	国庫補助の有無	20年度予算額	21年度予算額	実施主体
がん対策推進事業	(がん対策推進協議会運営事業) 地域がん登録の実施についての調査、 がん対策推進協議会、がん検診の精度管理・ 事業評価の専門部会の設置運営を行う。	無	千円 386	千円 376	県

(4) がん予防・早期発見の推進

事業名	事業内容	国庫補助の有無	20年度予算額	21年度予算額	実施主体
がん対策推進事業	(禁煙支援従事者研修会) 市町村等の禁煙支援業務従事者の資質 の向上を図るための研修会を行う。	たばこ対策 促進事業 (厚労省健康局)	千円 276	千円 258	県
	(胃がん検診車整備事業) 胃がん検診車の整備を行う。	日本宝くじ協会 助成金	56,250	0	県
たばこ対策 特別促進事業	未成年者の禁煙推進、パンフレットの 作成、受動喫煙防止のための研修を実施 する。	たばこ対策 促進事業 (厚労省健康局)	739	795	県
乳がん普及啓発事業	乳がんの普及啓発を行う。	女性のがん検診及 び骨粗鬆症普及啓 発等事業 (厚労省健康局)	246	0	委託先 (ヒソクリボソフエスタ 実行委員会)

(5) がん医療に関する相談支援及び情報提供

事業名	事業内容	国庫補助の有無	20年度予算額	21年度予算額	実施主体
がん対策推進事業	(がん診療連携拠点病院機能強化事業) がん相談支援センターにおいてがん医療に関する相談支援及び情報提供を行う。	がん診療連携拠点病院機能強化事業 (厚労省健康局)	千円 ※	千円 ※	補助先 (がん診療連携拠点病院)
	(がん患者ピア・サポート講習会) 地域で交流活動を行うがん患者に対してがんの知識や傾聴等の講習を行う。	都道府県がん対策重点推進事業 (厚労省健康局)	0	600	県

(6) がん医療水準均てん化の促進

事業名	事業内容	国庫補助の有無	20年度予算額	21年度予算額	実施主体
がん対策推進事業	(がん診療連携拠点病院機能強化事業) がん医療水準の均てん化を促進するため、拠点病院において、各種の研修等を行う。	がん診療連携拠点病院機能強化事業 (厚労省健康局)	千円 ※	千円 ※	補助先 (がん診療連携拠点病院)

(7) がんに関する研究の推進

事業名	事業内容	国庫補助の有無	20年度予算額	21年度予算額	実施主体
—	—	—	千円 —	千円 —	—

(8) その他

事業名	事業内容	国庫補助の有無	20年度予算額	21年度予算額	実施主体
がん対策推進事業	(がん検診実施体制強化モデル事業) がん検診のデータベースを構築し、検診の精度管理等を行う。	がん検診実施体制強化モデル事業 (厚労省健康局)	5,763	0	委託先 (大分県地域保健支援センター)
「がん対策」予算合計 (様式1の「がん対策」予算合計と一致すること)			千円 85,660	千円 23,029	

※ がん診療連携拠点病院機能強化事業として実施 平成21年度予算額：21,000 (平成20年度予算額：21,000)